



埼玉県合唱連盟 編

いろどり

## 彩のうたII

埼玉県合唱連盟発行の初代〈**彩のうた**〉(2009年1月発行)に引き続き、新しい曲集として続編〈**彩のうたII**〉を6月より出版します。混声・女声・男声合唱の愛唱歌を掲載し、様々な合唱イベントにおいて全員で歌いあえる曲集です。

〈**彩のうた**〉には、「夏の思い出」、「花」、「落葉松」、「旅立ちの日に」、「Ave verum Corpus」、「見あげてごらん夜の星を」、「大地讃頌」、「行こうふたたび」など34曲が収録されました。

そして今回の〈**彩のうたII**〉の編集には、小野瀬理事長、清野常務理事、南常務理事、南方事務局長の4名があたり、コンセプトを「大会での全員合唱で歌える曲」、「広く知ってもらいたい推薦曲」として選定しました。

会場中の参加者と歌いたい曲、練習の時に泣いちゃって歌えない曲、ついステップを踏みたくなる曲、故郷や命を想う曲などをリストアップ。そして「糸」、「ぜんぶ」、「ほらね」、「きみ歌えよ」、「リフレイン」、「初心の歌」、「酒頌」など最近の曲が20曲選ばれました。また、新川和江作詞・土田豊貴作曲「**日々あたらしく**」は、埼玉県連委嘱作品の初出版です。

[彩のうたIIチラシ\(PDF\)](#)

埼玉県連加盟団体に限らずどなたでも購入できます。

[【お申し込みフォーム】](#)

発行予定は6月4日(土)、価格は税込み1,320円。埼玉県連加盟団体は期間限定で割引価格(税込み1,200円)で購入できます。

また、埼玉県連では元祖「**おとうさんコーラス大会**」(現・**彩の国男声コーラスフェスティバル**)で使うための〈**おとうさんコーラス愛唱歌集**〉も発行しています。

「いざ起て戦人よ」、「柳河」、「雨」、「最上川舟歌」、「遥かな友に」、「**斎太郎節**」、「U BOJ」など男声合唱12曲に加え、女声合唱「花」、「椰子の実」、混声合唱「赤とんぼ」、「荒城の月」など、計19曲が含まれています。この曲集は、のちに宮城県合唱連盟との共同出版となっています。

埼玉では、大会などでこれらの曲集を使って、会場全員で楽しんでいきます。

## 「ハーモニー」200号達成!

全日本合唱連盟の会報「ハーモニー」は1971年10月に創刊されました。それから半世紀を経た2022年春号で記念すべき200号となりました。いまや、唯一といってよい合唱専門誌として全国の合唱愛好者に届けられています。

200号記念として、多くの著名な音楽家の方々がメッセージを寄せています。編集委員としても関わっておられた**岸信介**全日本合唱連盟理事長はつぎのようなメッセージを載せています。

『ハーモニー』は合唱に関する情報の発信、合唱文化芸術を向上するための記事などを通じて、合唱人の心に届く内容が使命だと思います。コロナ禍は合唱にはたいへん厳しい年月ですが、合唱の灯を点し続ける道標として『ハーモニー』がいっそう充実されることを願ってやみません。

創刊号に掲載された当時の**石井敬**理事長の巻頭言も再掲されています。ぜひお読みになってください。

## マルタ・アルゲリッチさんのピアノを聴いて育ったワイン

ちょっと楽しい話題です。ピアニストの巨匠マルタ・アルゲリッチさんが2011年、東日本大震災からの復興を願って大分県で植樹したピノタージュの苗木からワインが完成しました。その畑は、大分県北部の宇佐市安心院町の「**安心院葡萄酒工房**」、アルゲリッチさんの音楽を聴かせたブドウがようやくワインとして仕上がり、大分県内などで限定販売されています。

<https://www.ajimubudoushukoubou.com/>

「この木々が育つことが希望となるように」と「希望の樹」と名付けられ、11年の時を経て希望の旋律を奏でるワインとなりました。

**音泉都市『別府』**の知名度は『別府アルゲリッチ音楽祭』とともに有名ですが、1557年日本で初めて西洋音楽が演奏されたのが大分市です。

大分県庁には「西洋音楽発祥記念碑」と共に、弦楽器を奏でる神父と合唱する三人の少年のブロンズ像があるといいます。お近くの方はご覧になってお知らせ頂けるとありがたいです。

